

I・HEAP (対象 : Allender, T., Clark, A., & Parkes, R. (Eds.). (2020). *Historical Thinking for History Teachers: A new approach to engaging students and developing historical consciousness*. Routledge.)

担当 : 空 健太 (国立教育政策研究所)
sora@nier.go.jp

高次の歴史的理解を高めるためのフィクションの活用

PART 3: TEACHING APPROACHES

Chapter 14 Using fiction to develop higher-order historical understanding

■ 著者

グラント・ロッドウェル (Grant Rodwell) (所属 : タスマニア大学)



- ・カリキュラム研究 (歴史カリキュラムにおける歴史小説の教授)
- ・政策研究 (学校教育政策におけるモラル・パニック理論とリスク社会論の影響, 連邦制と学校教育)
- ・レバノンの学校教育に関する研究

写真や著者情報は,

<https://www.utas.edu.au/profiles/staff/education/grant-rodwell>

■ 代表的な著書

Rodwell, G. (2018). *Risk society and school educational policy*. Routledge.

Rodwell, G. (2017). *Moral panics and school educational policy*. Routledge.

Maadad, N., & Rodwell, G. W. (2017). *Schooling and education in Lebanon: Syrian and Syrian Palestinian refugees inside and outside the camps*.

Rodwell, G. (2013). *Whose History? Engaging History Through Historical Fiction*, Adelaide: University of Adelaide Press.

Rodwell, G. (2017). *Saving Sydney*. London: Austin Macauley.

■ 用語

- ・ higher-order historical understanding | 高次の歴史理解
- ・ time-slip novel | タイムスリップ小説
- ・ historical fiction | 歴史フィクション
- ・ historiography | 歴史学, 歴史記述, どちらでも取れるが, 「歴史学」とした
- ・ commodified history | 商品化された歴史

概要と結論 : この章では, 生徒の高次の歴史理解, 教室における歴史の学習に対する生徒の動機付け, 歴史学 (歴史記述) に対する生徒の理解, 歴史の授業と文学をどのように結び付けるかについて紹介している。特に, タイムスリップ小説の力について, 様々なジャンルの歴史小説との比較からその特徴を考察し, 生徒の高次の歴史理解を深めることができると主張している。例えば「もしも...だったら」という問いはタイムスリップものの歴史小説の思考と通ずるものである。適切なフィクションを歴史の教授で用いることは, 歴史学の理解を深める (高次の歴史理解につながる) というのが本章の主張である。

■ 構成（番号は便宜的に設定）

1	はじめに
2	レイチェル・エドワーズとクレア・ブロックの経験
3	歴史小説とそのサブジャンル (1) 伝統的な歴史小説 (2) 複数の時代を描く叙事詩 (3) 歴史サーガ (4) 西部劇やオーストラリア辺境の歴史小説 (5) 歴史ミステリー (6) ロマンチックな歴史小説 (7) 歴史的冒険小説 (8) 歴史的スリル (9) 文学的歴史小説 (10) キリスト教歴史小説 (11) 歴史ファンタジー小説 (12) スチームパンク (13) オルタナティブ・ヒストリー (14) タイムスリップ小説
4	タイムスリップ歴史小説とタイムトラベル歴史小説
5	オーストラリアのタイムスリップ歴史小説
6	タイムスリップ YA 文学が人気の理由
7	歴史小説の人気と生徒の高次の歴史理解：教育的関与と強化のプロセス
8	教室のための問いの例
9	結論

1 はじめに

- ・高次の歴史理解 (higher-order historical understanding)
→歴史，特に学校の歴史が，植民地主義的な態度，ジェンダーや人種差別的な視点，官僚や役人の視点などの「上から書かれた」歴史によって，どのように歪められてきたのかについての理解を具体化するもの。
- ・歴史小説を取り入れることで，生徒の高次の歴史理解を深めることができる。

2 レイチェル・エドワーズとクレア・ブロックの経験

(1) レイチェル・エドワーズ (Rachel Edwards)

- ・1980年代前半，ホバートの小学校5年生の頃，学校の司書がルース・パーク (Ruth Park) の『Playing Beatie Bow』 (1980年) というタイムスリップものの歴史小説を紹介してくれた。当時のタスマニアの小学校では歴史は選択科目。そのため，レイチェルと友人にとっては，歴史的な内容に触れ，高次の歴史的理解を深めることができるまれな機会だった。
- ・レイチェルにとって，この作品は若い労働者階級の女性の視点から語られる歴史を理解する初めての機会であり，タイムスリップものの歴史小説は，歴史に関わるユニークで魅力的な機会を与えてくれるものだった。
- ・タイムスリップを使用することで，「魔法のような」魅力的な手段で読者と関わり，歴史には声があるという理解とともに，高次の歴史的思考を高めることができる。

(2) クレア・ブロック (Claire Brock)

- ・ブロックは，2014年アデレードで開催された歴史教師の集会で，5年生の歴史の授業でフェリシティ・プルマン (Felicity Pulman) の『A Ring Through Time』 (2013年) というタイムスリップ歴史小説の価値を主張した。ブロックによれば，思慮深い問いを投げかけることで，生徒の歴史に対する高次の理解を深めるために利用できる。

▶ この二つの経験は，適切な歴史小説が，特に生徒の関与という点で，学校における正当な歴史学習の経験となり，高次の歴史的思考のための教育的ツールであることを示唆している。

- ・以下，タイムスリップ歴史小説が，歴史小説という一般的なジャンルの中でどのような位置を占めているのか，また歴史小説の他の様々なサブジャンルとの関係について検討する。

3 歴史小説とそのサブジャンル

※ジャンルについては，次の文献から引用したとされる。Providence Public Library 2014, *A Guide for Historical Fiction Lovers*, <http://www.provlib.org/guide-historical-fiction-lovers>

ジャンル	概要	例
(1) 伝統的な歴史小説	歴史上の人物に近い人物を登場させ，わかりやすく，歴史的に正確なプロットを重視。	『The First Man in Rome』 (1990年) ローマ共和国の衰退期に2人の男が同盟を結んだことを描いた小説。

		『The Secret River』 (2005年) ヨーロッパ人がダルグ族の伝統的な土地に侵入した初期の頃の、ヨーロッパ人とオーストラリアの先住民の関係を描いた小説。
(2) 複数の時代を描く叙事詩	特定の場所が何世紀にもわたってどのように変化していくのかを描き、国や地域、民族がどのように進化していくのかを表現。一般的に、物語を牽引する主人公は存在せず、地域や国、人々が物語を牽引する。	ジェームズ・ミッチェナー (James Michener) が第二次世界大戦後の数十年間に盛んに発表した作品。『ハワイ』 (1959年)、『チェサピーク』 (1978年)、『ポーランド』 (1983年) など。
(3) 歴史サーガ	一般的に、家族や友人のグループを、何世代にもわたって追いかける。「時間の観点から」考えられた小説。	『All the Rivers Run』 (1958年) マレー河畔のオーストラリア人の生活を描いた小説。
(4) 西部劇やオーストラリア辺境の歴史小説	アメリカ西部またはオーストラリアの辺境が舞台。	『Hondo』 (1953年) 19世紀のアリゾナを舞台にした、元騎兵隊の斥候が女性とその息子をアパッチや残忍な夫から守る小説。
(5) 歴史ミステリー	歴史小説とミステリーのジャンルを掛け合わせたもの。	古代ローマを舞台にしたスティーブン・セイラー (Steven Saylor) の『Roma Sub Rosa』シリーズ。
(6) ロマンチックな歴史小説	歴史を舞台にしたラブストーリー。その歴史的整合性に関して教室で多くの貴重な議論を行うことができる。	『My Love Must Wait』 (1941年) 18世紀後半の英国の航海者であるマシュー・フリンダース (Matthew Flinders) を描く。英国中心の作品であるとともに、フランス人によってモーリシャスに幽閉されたフリンダースの様子 (1803・10年) を非歴史的な言葉で描いている。
(7) 歴史的冒険小説	一般的に、主人公が敵対的な辺境の地を広く旅し、驚くべき障害を克服することが特徴。小説としては面白いが、教師や教育者にとって、このジャンルは歴史の授業では教育的価値が低いと考えていると思われる。	『The Power of the Sword』 (1986年)
(8) 歴史的スリル	主人公が危険にさらされるもの。このジャンルの小説は、よく研究されており、説得力のある人物像が描かれているため、教室での歴史学習に大いに役立つ。	『The Foreign Correspondent』 (2007年) パリにいるジャーナリストがファシストの秘密警察から身をかわすもの。
(9) 文学的な歴史小説	現代的なテーマを叙情的・濃密な言葉で表現。このような小説を教室で使用する歴史教師は、生徒に歴史学への理解を深める必要性をしっかりと理解している (Parkes & Donnelly 2014)。	『True History of the Kelly Gang』 (2000年) 歴史学的なメタフィクションで、商品化された歴史 (commodified history) (※1) という概念を導入している。
(10) キリスト教歴史小説	キリスト教のテーマを反映したもの。	『Christy』 (1967年) 20世紀初頭のアパラチア地方のフィクションの村カッター・ギャップを舞台に、ミッション・スクールの19歳の教師が、自分の人生だけでなく、他の人の人生も向上させていくもの。
(11) 歴史ファンタジー小説	歴史とファンタジーを組み合わせたもの。一般的には、歴史上の出来事を、その時代に流行していた神話的な歴史の観点から取り上げる。このジャンルの最大の特徴は、機能している社会をメタファーやアレゴリーを通して見ること。	『Chronicle of the Ages』 (2008年)
(12) スチームパンク	SF・ファンタジー小説の新しいサブジャンル。ジュール・ヴェルヌやH.G.ウェルズのSFが起源。19世紀の蒸気機関を利用した先進的な機械やテクノロジーを題材にしており、物語の舞台は歴史的に有名な時代やファンタジーの世界であることが特徴。	『Queen Victoria's Bomb』 (1967年)

(13) オルタナティブ・ヒストリー	歴史が違った形で起こることを想像するもので、反事史的歴史と呼ばれることもある。ナチス・ドイツやヒトラーに関してこうしたジャンルの小説が多い。 オルタナティブ・ヒストリーは生徒の歴史学の理解に大きく貢献することが実証されている (Rosenfeld 2005)。	『Dismissal』 (2011年) 1975年11月11日にオーストラリアの歴史が思いがけない方向に向かったことが描かれている。
(14) タイムスリップ小説	登場人物が時代を行き来するもの。	『Doomsday Book』 (1992年) 中世にタイムスリップしたオックスフォード大学の学生が、偶然にもペストの時代に着地してしまう小説。 『Saving Sydney』 (2017年) 第二次世界大戦中に枢軸国がシドニーに侵攻しようとしたことを描いた、歴史的なタイムスリップ・スリラー。

(※1) Toman (n.d.)→商品化された歴史つまり「過去の大衆的マーケティング」について。グローバル化が進む世界では、アイデンティティ形成の手段としての過去への言及がますます重要になっている。歴史の「生産」が学術的な歴史学の主要分野であるにも関わらず、過去は膨大な数の人々によって消費され、利用される多くの大衆的な文脈の中で扱われている。歴史に命を吹き込む形態は多岐にわたるが、そのほとんどに共通する特徴がある。エンターテインメントを通じて知識の流通が行われることである。アカデミアの外で歴史を生産することは、しばしばビジネスとしての歴史を論じることに還元され、「過去のマーケティング」の形態はアカデミックな言説の中で批判されてきた。この批判的な評価の中で、標準化と多様性の喪失の恐れが叫ばれている。

- ・タイムスリップ小説が歴史のカリキュラムに加えることのできる特別な高次の歴史理解とは何か。

6 タイムスリップ YA 文学が人気の理由

- ・ヤングアダルト (YA) 向けに書かれたタイムスリップ文学の魅力を、教育・学習戦略として取り上げる査読付きの学術雑誌記事が増えてきている。通常は英語のカリキュラムで取り上げられているが、歴史の教師にとっても非常に重要な意味を持っている。

Marquis, C. 2008, 'Haunted histories: Time-slip narratives and Antipodes', *Explorations into Children's Literature*, vol. 18, no. 2, pp. 58–64.

→四つのタイムスリップ小説を取り上げ比較を行い、これらの作品が子供や若者に大きな魅力を持っていることを説明。

読者は、タイムスリップした子供の登場人物を、遊びの空間としての過去へ追いかけることができる。そこでは、普段の経験の制約や複雑さから独立するという特権を与えられる。自分がどこから来たのかを知ることによって自己理解を深める瞬間に向かって進む限り、非常に個人的な物語はさらなる可能性を開く。それは、家族のコミュニティの歴史や国家の歴史のような、より大きな物語を構成する世代間の連続性の理解である。
子供を文化的な現在に位置づけるために、逆説的に、明らかに些細なことで特徴付けられる過去に、一時的に移されることにより、その機能を理解する。そのような物語の方法は、冒険やロマンス、ファンタジーにはない。
… (中略) …読者に、生きた経験としての歴史を知ってもらうことにある
タイムスリップ小説は、典型的には、子供たち、登場人物、そして読者に過去を提供する。その世界は、現在を剥ぎ取ることによって、日常的な現実の世界を根本的に拡張し、私たちが理性的な生活の中で過去として知っているものを、同じように有効な形で再び開示する。… (中略) …通常の現実の優位性に超自然的なものが挑戦するのではなく、過去と現在を緊張状態にしてから、世界と瞬間を調和させることでこの状態を緩和しようとするのである。

Krips, V. 2000, *The Presence of the Past: Memory, Heritage and Childhood in Postwar Britain*, London: Taylor & Francis.

→イギリスの帝国の喪失と萌芽期の遺産産業を参照し、YA 文学の多くの異なるタイプの作品に幅広く言及し、YA タイムスリップ小説の作者が共通して夢中になるのは、「過去の観点から現在に適切な方向性を見出すこと」だと述べている。

Cosslett, T. 2002, "History from below": Time-slip narratives and national identity'.

→タイムスリップというジャンルの特徴を、遺産の考えに明確に関連づけている。

タイムスリップの物語は、その多くの種類において、潜在的に民族主義的なルーツ探しではなく、「他の」歴史への寛容さを提供している。遺産によって約束された過去への単純なアクセスを問題にしている。過去の空虚な再構築を批判し、子供時代を構築することで、ノスタルジアの危険性を回避している。

Locherbie-Cameron, M. 1996, 'Journeys through the amulet: Time-travel in children's fiction', *Signal*, no. 79, pp. 45–61.

→教室、特に文学をベースにした授業で、このジャンルを使用する道筋を示している。

Storrs, E. 2013, 'Belinda Murrell—author interview', *The Australian Literature Review*, 24 March

→インタビューの中で、作家ベリンダ・マレル (Belinda Murrell) がタイムスリップの使い方について説明している。

私は常に歴史と、時間を遡るというアイデアに魅了されてきた。また、経験や欠点を持った現代のキャラクターを、全く知らない環境に置いて、祖先が直面した危険や困難に対処させるというアイデアも好んでいる。私の現代の主人公は、この経験を通して、自分の人生、強み、内なる勇気について何かを発見する。

7 歴史小説の人気と生徒の高次の歴史理解：教育的関与と強化のプロセス

- ・歴史の教授において歴史学のレベルを向上する理想的な媒体⇨タイムスリップ小説
- ・教師や教育者たちは、タイムスリップの歴史や歴史フィクションへの関心の高まりを利用し、教室における歴史的な議論を通じて、生徒の歴史リテラシーや高次の思考を高めることができることに気づき始めた。その結果、歴史教育はこの数十年の間に大きな変化を遂げた。
- ・今では、「もしも.....だったら」という重要な問いが、日常的に行われるようになってきている (Lévesque 2008; Rodwell 2013; Seixas 2004) →冒頭のエドワーズの経験と同じもの
- ・よく考え選ばれた歴史小説は、歴史の教師に多くのものを提供してくれる。特に、タイムスリップものは、主人公たちが新しい時空に連れて行かれるので、様々な主題についての重要な問題を見るための新鮮で刺激的な手段となる。
→例：レイチェル・エドワーズの『Playing Beatie Bow』の場合、1980年代のロックス地区の新興高級観光地と「南太平洋の下水道」として一般的に語られていたヴィクトリア朝末期の同地区とが並行して描かれている。

8 教室のための問いのサンプル

- ・歴史小説に関する有用な問い

・読んで理解したことから、歴史小説の様々なサブジャンルは、特に歴史の教室で使われるという点について、どのような違いがあるか？

・歴史的なフィクションにおけるタイムスリップというジャンルの専門的な魅力は何だと考えられるか？

・歴史小説は高次の歴史的思考をどのように高めてくれると思うか？

・歴史小説を歴史のカリキュラムに取り入れることについて、生徒はどのような意見を持っているか？

・商品化された歴史が私たちの歴史理解に及ぼす影響を取り除くために、歴史の授業で歴史小説をどのように利用できるだろうか？

・「歴史学 (historiography)」という言葉の意味について、どのように理解しているか？

・高次の歴史的思考を高めるために、歴史小説を用いることで歴史学への理解をどのように深めることができるか。

9 結論

- ・生徒が歴史で高次の思考を身に付けるための最初のステップは、生徒の興味を引くことであり、歴史小説は強力なツールである。
- ・小説は、教師が適切な問いを行うための教育的な戦略となり、生徒の高次の思考を刺激する。
- ・偶発的ではあるが、歴史小説を読むだけで高次の歴史的思考が身につく生徒もいる (エドワーズのように)。従って、適切な時期や重要な瞬間に、教師が適切なジャンルの歴史小説を生徒に届け、戦略的な問いを用いた計画的な教育を行う必要がある。
- ・そのためには、歴史の教師は、歴史小説とその多様なサブジャンルについて、包括的な理解を深める必要がある。